

# 医薬品安全使用ニュース

## エネフリード輸液投与時の 注意点について

⚠ **混注禁止**

⚠ **フィルター不可**

アミノ酸・糖・電解質・**脂肪**・水溶性ビタミン液  
<用法用量>

通常、成人には1回550mLを**末梢静脈内**に点滴静注する。  
投与速度は、通常、成人550mL当たり120分を基準とする。  
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減するが、  
最大投与量は1日2200mLまでとする。



### 概要

エネフリード輸液は、**脂肪が配合**されているため、混合後は微黄色の乳濁液となり、汚染時の混濁や混注による**配合変化の確認が困難**となります。特に、細菌が混入すると輸液ライン等が**急速に汚染**されます。

### 注意すべきポイント

**エネフリード輸液は、他剤との混注や、輸液ライン側管から他剤を投与することはできません**

**また、除菌用ファイナルフィルターは使用できません**

菌汚染防止のため、連日投与時は24時間毎に輸液ラインを交換してください。また、脂肪が目詰まりするためフィルターの使用はできません。

#### 参考資料

- ・エネフリード輸液添付文書
- ・エネフリード輸液投与時の輸液ライン管理について(大塚製薬工場HP 2024.4閲覧)  
[https://www.otsukakj.jp/med\\_nutrition/pdf\\_viewer/?file=/med\\_nutrition/archives/enefluid/pdf/EFD2622B01.pdf?](https://www.otsukakj.jp/med_nutrition/pdf_viewer/?file=/med_nutrition/archives/enefluid/pdf/EFD2622B01.pdf?)